

# 事業案内

2019(平成31)年度事業報告  
2020(令和2)年度事業計画



社会福祉法人  
千葉いのちの電話

24時間年中無休  
相談電話 043-227-3900

# CONTENTS

ごあいさつ .....	1
千葉いのちの電話の理念 .....	2
2019（平成31）年度事業報告 .....	3
I. 相談事業報告	
(1) 電話相談事業 .....	3
(2) 自死遺族支援事業 わかちあいの会「ひだまり」 .....	8
(3) 対面相談事業 .....	9
(4) インターネット相談事業 .....	10
II. 養成と研修 .....	11
III. 公開講演会・公開講座 .....	12
IV. 活動報告 .....	13
V. 他機関との連携 .....	16
2019（平成31）年度 決算報告 .....	17
2020（令和2）年度 事業計画基本方針 .....	20
2020（令和2）年度 事業目標 .....	20
ボランティア相談員基礎研修講座の概要 .....	21
千葉県いのちの電話協会 .....	22
役員名簿 .....	23
千葉いのちの電話役員名簿	
千葉県いのちの電話協会役員名簿	
研修専門家部会名簿	

ご支援のお願い

# ごあいさつ



社会福祉法人 千葉いのちの電話  
理事長 友田 直人

元号が令和に変わった2019年度も幅広い県民の皆様のご支援を賜り、ここに千葉いのちの電話の事業報告並びに2020（令和2）年度の事業計画を報告できますことを深く感謝申し上げます。

お陰様で昨年は開局30周年の節目を迎えることができ、本年度は次の新たな10年に向け第一歩を踏み出しました。これまでの皆様方のご協力とご指導に感謝申し上げますとともに、引き続きご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

全国の自殺者数は、諸策の効果もあり2019年は20,169人（前年比△671人、3.2%↓）と2009（平成21）年の37千人から10年連続減となりました。千葉県ではピークであった2003（平成15）年の1,469人から減少し、一昨年は微増したものの昨年は977人でした。但し、年代別では、10～19歳の未成年者は約1割増加と憂慮すべき状況です。現代社会の大きな課題とも言えます。

千葉いのちの電話としても、時代の変化に沿った対人援助のあり方をさらに検討していく必要性を感じています。電話相談・自死遺族支援・インターネット相談・対面相談の4つの相談援助活動を実施しているセンターとしてどう関わられるのか、また世代の変遷や生活様式の変化に伴う最適な対話の方法は、行政や他機関との連携の在り方は、等模索して参りたいと存じます。一方で相談員の高齢化・減少や財務基盤の健全化など課題は尽きませんが、関係者一人一人が力を合わせて知恵を出し合うことが解決へつながると信じております。

昨年度は、千葉県も多大な風水害に見舞われ、未だに苦勞されている県民の方たちもおります。また、本年度は新型コロナウイルス感染の脅威のさなかのスタートとなりました。この多難な時期、社会インフラとしての相談業務の重要性は再認識されております。私たちも各関係機関と連携を保ち、また専門家のご指導のもとでの適切な対応を選択しながら、今後増加するであろう健康や経済・その他の問題で不安をお持ちの方の相談に对应して参りたいと存じます。

本年度は残念ながら新規のボランティア相談員の養成講座の募集は断念せざるを得ませんでした。さまざまな問題を抱え、生きることに苦悩する人たちを24時間休む事なく受け止め、相談に応じる基本理念を再確認し、活動を維持していくため、全力を尽くして参りたいと存じます。

引き続き千葉いのちの電話に対するさらなるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 千葉いのちの電話の理念

千葉いのちの電話はかかわりを求め、なんとか対処しようと苦悩している人たちに「私たちがここにいるよ」と表明し、寄り添いかかわりを求められる存在でありたいと望んでいます。そのために傾聴を基本の姿勢として、時には自殺まで思うほどの精神的危機にある人に寄り添い、対等な人間としてかかわりを持ち支え合う相談活動をしています。また、使命の大きな柱である自殺予防のため、裾野の広い自殺予防活動を行います。

### 相談援助活動の4本の柱

#### 電話相談

043-227-3900  
24時間365日  
年中無休

わかちあいの会  
- 自死遺族支援 -

#### 対面相談

- こころの相談室 -

インターネット  
相談



### ◆ 千葉いのちの電話の歩み

・ 設立準備委員会発足	1988年 1月	・ 対面相談開始	2009年 4月
・ 千葉いのちの電話開局	1989年10月 1日	・ 千葉日報社会福祉賞受賞	2009年11月
・ 千葉県いのちの電話協会発足	1990年10月20日	・ 社会貢献者表彰	2010年10月
・ 社会福祉法人設立認可	1993年12月28日	・ 「震災ダイヤル」参加	2011年 3月 ~2013年 9月26日
・ 第22回いのちの電話相談員全国研修千葉大会・ 第10回アジア太平洋地域電話カウンセリング国際 会議開催	2001年 6月13日 ~16日	・ 「ナビダイヤル」参加	2013年 3月
・ 千葉市社会福祉功労表彰	2005年10月	・ 千葉県社会福祉賞受賞	2013年12月25日
・ 自死遺族支援「わかちあいの会ひだまり」を開始	2006年11月	・ 厚生労働大臣表彰	2014年 9月27日
・ 新会館（CIDビル）に移転	2007年 6月 1日	・ 開局25周年記念式典	2014年10月 1日
・ インターネット相談開始	2008年 7月	・ 千葉県いのちの電話協会25周年記念式典	2015年 9月30日
		・ 開局30周年記念式典	2019年10月 1日

### 社会福祉法人 千葉いのちの電話 概況

(2020年4月1日現在)

【設 立】1989年10月1日

【法人認可】1993年12月28日

【組 織】理事：9名 監事：2名 評議員：21名 後援会役員：17名 監事：1名

【認定者累計】1,181名 【実動相談員数】180名 【活動ボランティア数】24名

# 2019（平成31）年度事業報告

（2019年4月1日～2020年3月31日）

## はじめに

福祉サービスの提供として精神的危機に直面し、援助と励ましを求めている人びとと、主に電話という手段で対話し、健全な社会人として生活することが出来るよう援助し、その他にこれに関連するサービスを提供し、もって社会福祉の増進に寄与することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

定款（目的）第1条

この一文は、千葉いのちの電話の活動の使命や理念を表わし、定款の第1条に掲げています。私たちはこの目的の実現のために市民運動のボランティア組織ではありませんが、責任ある組織として活動を継続して参りました。2019（平成31）年度の電話相談・自死遺族支援・対面相談・インターネット相談の4相談事業の活動の概要を中心に、ここにご報告させていただきます。

## I 相談事業報告

### (1) 電話相談事業

電話相談 2019年度（2019年4月～2020年3月 1年間）

自殺予防フリーダイヤル（毎月10日実施）

2019年4月から2020年3月まで1年間の受信数は17,607件、男性8,150件（46.3%）、女性9,457件（53.7%）で、全体の中で自殺傾向の見られるものは、2,326件（13.2%）でした。一日平均48件受信しています。

厚生労働省の支援による、月1回のフリーダイヤルは、744件（1回平均62件）のうち男性414件（55.6%）女性330件（44.4%）で、全国から受信しています。自殺傾向は、189件（25.4%）と通常より12.2%高くなっています。

フリーダイヤルに関しては、連盟の申し合わせで、非通知を受信しない、同じ番号からの一日の回数が多く合計で2時間を超える場合は翌月は受信しない、ことを実施して以降、頻回者が大幅に減ったことにより、自殺傾向は一時減りましたが、このところまた件数が増えています。

連盟の意向で1月からナビダイヤル（全国17センターが登録し、統一電話番号で朝10時から夜10時まで受信している）の集計を行い3か月で113件受信しました。ナビダイヤルは、17センターのうち相談者の地域の近くで空いている局に繋がるのが特徴です。

総受信数の内、9歳以下2件、10代334件（自殺傾向30件8.9%）、20代642件

(自殺傾向120件18.7%)、30代1,290件(自殺傾向214件16.6%)、40代2,831件(自殺傾向440件15.5%)を受信していますが、20代の若者の自殺傾向が高くなっています。実際に若者の死が多いことと、繋がっています。

人生に悩む相談者が4,120件(自殺傾向889件21.6%)と飛びぬけて多く、家族2,218件(自殺傾向264件11.9%)精神の悩みが2,180件(自殺傾向511件23.4%)で続きます。

精神疾患が推測される方は、9,235件で、全体の53%になっています。実際はもっと多いのではと思われます。

自殺未遂は、はっきりしているケースが男性253件、女性597件合計850件(5%)で、未遂を繰り返す相談者が多くなっています。自殺実行中が男性3件、女性12件ありました。

2020年に入り、新型コロナウイルス感染の拡大が相談者の不安を増幅させています。3月の受信数1,539件中コロナへの不安が88件(5%)ありました。日頃から身体・精神に疾患を抱えている相談者は、コロナ禍をより一層重く受け止めています。

### ◆ 電話相談事業概況 (2019年4月～2020年3月)

電話相談研修ボランティア  
2020年4月30日

受信数			累計		
2019年4月～2020年3月(366日)			1989年10月～2020年3月		
総受付件数	17,607件		総受付件数	671,009件	
一日平均	48件				
男	8,150件	46.3%	男	296,012件	44.1%
女	9,457件	53.7%	女	372,953件	55.6%
不明	0件	0%	不明	2,044件	0.3%

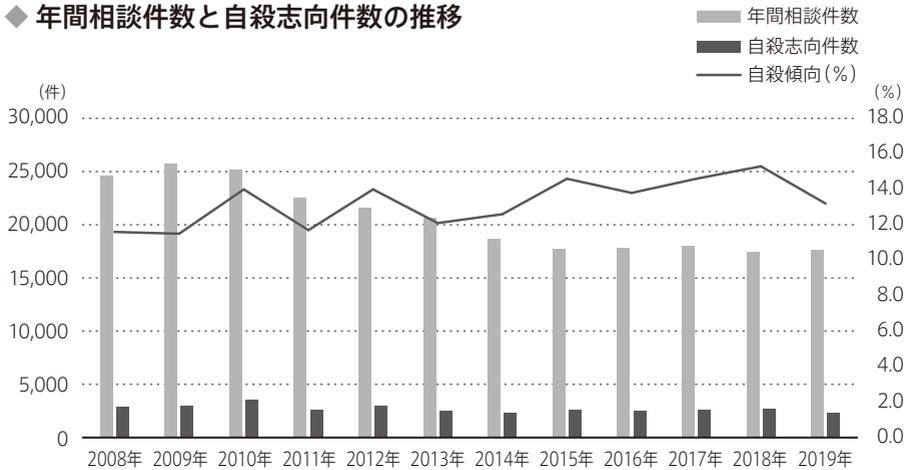
\*ナビダイヤル(10時～22時)は全国16センターが登録、かけての近い地域から空いてるセンターにつながる。

	総件数	男		女	
		件数	%	件数	%
通常	16,750	7,670	45.8	9,080	54.2
フリーダイヤル	744	414	55.6	330	44.4
ナビダイヤル 2020年1月～3月	113	66	58.4	47	41.6
総計	17,607	8,150	46.3	9,457	53.7

通常・フリーダイヤル・ナビダイヤル自殺傾向

	総受付数	念慮		危険		予告・通告		実行中	
		男	女	男	女	男	女	男	女
通常	2,121件	749	1,225	41	56	17	19	2	12
	%	35.3	57.8	1.9	2.6	0.8	0.9	0.1	0.6
フリーダイヤル	189件	86	90	4	4	4	0	1	0
	%	45.5	47.6	2.1	2.1	2.1		0.5	
ナビダイヤル	16件	10	6	0	0	0	0	0	0
	%	62.5	37.5						

### ◆ 年間相談件数と自殺志向件数の推移



年度	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
年間相談件数	24,652	25,743	25,184	22,565	21,557	20,604	18,693	17,677	17,844	17,992	17,389	17,607
自殺志向件数	2,854	2,964	3,502	2,629	3,013	2,495	2,357	2,581	2,460	2,634	2,667	2,326
自殺傾向 (%)	11.6	11.5	14.0	11.7	14.0	12.1	12.6	14.6	13.8	14.6	15.3	13.2

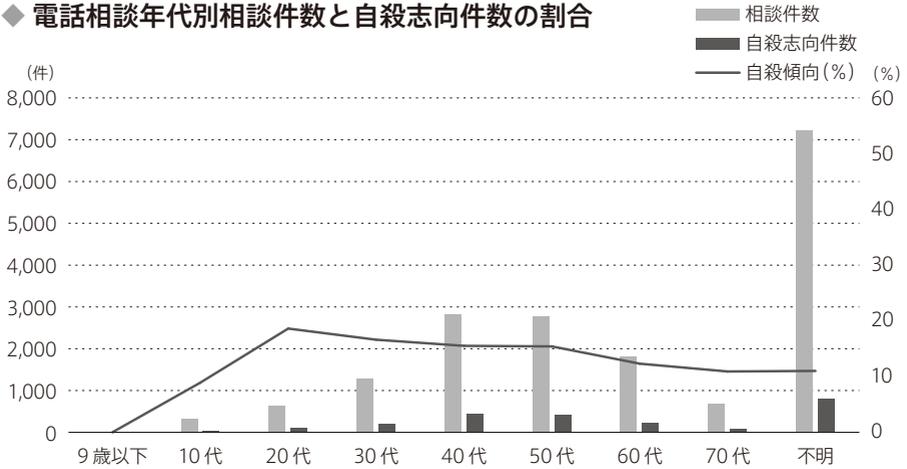
\*2017年度は1～12月のデータ

### ◆ 相談内容別件数と自殺志向の割合



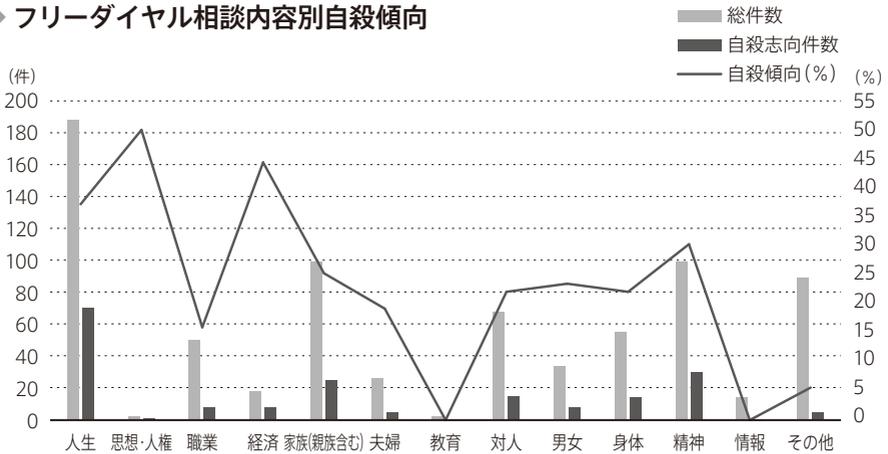
内容	人生	思想・人権	職業	経済	家族(親族含む)	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
総件数	4,120	83	1,102	359	2,218	900	60	2,252	672	892	2,180	155	2,614	17,607
自殺志向件数	889	15	104	55	264	105	9	182	53	92	511	7	40	2,326
自殺傾向 (%)	21.6	18.1	9.4	15.3	11.9	11.7	15.0	8.1	7.9	10.3	23.4	4.5	1.5	13.2

### ◆ 電話相談年代別相談件数と自殺志向件数の割合



項目	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
相談件数	2	334	642	1,290	2,831	2,780	1,810	684	7,234	17,607
自殺志向件数	0	30	120	214	440	429	222	75	796	2,326
自殺傾向 (%)	0	8.9	18.6	16.6	15.5	15.4	12.3	10.9	11.0	13.2

### ◆ フリーダイヤル相談内容別自殺傾向



項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族(親族含む)	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
総件数	188	2	50	18	99	26	2	68	34	55	99	14	89	744
自殺志向件数	70	1	8	8	25	5	0	15	8	14	30	0	5	189
自殺傾向 (%)	37.2	50.0	16.0	44.4	25.3	19.2	0.0	22.1	23.5	22.1	30.3	0.0	5.6	25.4

## ◆ 精神疾患相談件数 (2019年4月～2020年3月)

	歴あり	疑いあり	治療中	不明	なし	合計
男	174	705	3,010	1,590	2,671	8,150
女	301	1,233	3,812	1,424	2,687	9,457
計	475	1,938	6,822	3,014	5,358	1,7607
%	3	11	39	17	30	

\*総計17,607件のうち、歴あり・疑い・治療中は9,235件で53%

## ◆ 自殺未遂 (2019年4月～2020年3月)

	なし	あり	不明	合計
男	6,740	253	1,157	8,150
女	7,682	597	1,178	9,457
計	14,422	850	2,335	17,607
%	82	5	13	

## ◆ 電話相談内容へのコロナウイルスの影響

2020年1月に中国武漢を発端としたコロナウイルス禍も緊急事態宣言が5月末に解除され社会も復旧へ動きだしました。3月の電話相談は通常通りでしたが、4月は変則的ながら継続しました。5月は、平日の9:00～17:00とし、6月は休日も実施しました。これまでの相談内容のまとめをご報告します。

## ◆ コロナに関する受信件数 (1月の受信総数は1,559件 コロナ関連0件)

	総受信数	コロナ	率 (%)	男	女
2月	1,370	37	2.7	13	24
3月	1,539	88	5.7	28	60
4月	853	131	15.4	62	69
5月	399	75	18.8	28	47

\* 4/1～4/10 24時間 4/11～4/14 7:30～21:30 4/15～4/30 平日9:00～17:00

## ◆ コロナに関する年代別受信件数

	コロナ合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
2月	37	0	0	3	5	3	3	3	20
3月	88	0	1	6	13	11	14	3	40
4月	131	2	5	4	24	24	11	4	57
5月	75	0	1	4	8	21	11	3	27

## ○かけ手のコロナに関する主な言葉

- ・失業 (パートを解雇された アルバイト契約を切られた 再就職先がない 運転手の仕事がない 自粛で家賃が払えない)
- ・持病有 (大病後に免疫低下でコロナが怖い コロナでうつが悪化 パニック・不安障害にコロナ不安 コロナ恐怖で薬が増えた 精神科通院が恐い)
- ・漠然と不安 (神社にお参り 怖くて外出できない 落ち着かない モヤモヤ 気持ちがざわつく)
- ・その他 (消毒液不足 マスク220枚作成 街中の人出が気になる コロナに罹ると村八分にあう 教会が休みで困る コロナは神が与えた罰 旅行に行けない 図書館、動物園開けて欲しい)

## ○まとめ

コロナに関しては、月を追って総受信数に占める比率が上がってきています。内容も、2月は、まだまだ他人事でしたが、3月は失業、休職などの生活不安、体調不良を訴える方が毎日のように出てきました。4月は、失業者が増え、コロナによる経済不安、感染への恐怖が、現実の厳しさとして話されています。5月は、399件と受信総数が少ないのですが、18.8%がコロナへの不安を口にし、項目別にはっきりした数字としてあがってきています。いのちの電話は、精神に疾患を抱えている方が半数を超えますが、持病有や漠然と不安の項目に特にコロナの影響が反映されているようです。

## (2) 自死遺族支援事業 わかちあいの会「ひだまり」

2019年度は年間スケジュールとおり3ヶ所の会場を確保でき4月より例年同様スタートいたしました。しかしながら6月の大雨、8・9月の台風などで、ひだまり・茶話会は開いておりましたが参加者は少なく、ゼロの日もありました。天候不順の影響を何度も受けた本年でした。2020年1月あたりより新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け3月のひだまり・茶話会は中止を決定いたしました。これ等の理由から本年度参加者総数は昨年より33名減少（マイナス約25%）となりました。

予定していた2月の印旛健康福祉センターでの講演会も同じ理由で中止といたしました。

2月15日 自死遺族支援事業全国合同研修会が開催され全国から大勢の参加者があり講演会・活動報告など活発に意見が交わされました。新年度（2020年）は千葉がこの全国合同研修会開催準備を担当することとなり直ちに取り掛かっているところです。

ひだまり・茶話会がやむなく中止となりましたが私たちスタッフはその都度会場のドアの前に立ちました。話し合いを求め答えのない疑問を求めて来る参加者に僅かながらの私達の想いです。

### ◆ ひだまり開催

年 度	開催回数	会場別参加者数（人）						累計	参加内訳（人）	
		千葉	習志野	柏	君津	印旛	浦安		男	女
2006～2018	333	461	6	578	11	111	2	1,169	421	748
2019	22	29		42		10		81	15	66
計	355	490	6	620	11	121	2	1,250	436	814

### ◆ 茶話会開催

年 度	茶話会	参加者	参加内訳（人）	
			男	女
2006～2018	28	157	34	123
2019	3	17	0	17
計	31	174	34	140

2020年全国合同研修会を開催するにあたり現在の実施5センターの14年前の立ち上げの経緯などアンケートに盛り込んでみました。当初の想いを知り新しい出発になれる研修会にしたいと思います。

### ◆ 2019年度ひだまり・茶話会

会 場	開催数	参加者	死別対象					
			配偶者	子ども	親	兄弟	恋人	その他
ひだまり千葉	11	29	5	16	5	1	1	
柏	5	42	3	32	4	1	1	3
印旛	6	10	1	6	1		1	
計	22	81	9	54	10	2	3	3
茶話会 千葉	1	5		3	2			
／ 柏	2	12		12				
計	3	17	0	15	2	0	0	0
合 計	25	98	9	69	12	2	3	3

※重複あり

### (3) 対面相談事業

2009年に対面相談を開始して以来、この間の対面相談実施総件数は1,000件越えの1,080件となった。2019年度の対面相談実施件数は164件と前年（230件）の28%減となっている。

対面相談実施件数の男女別では、男性が45件（27%）、女性が119件（73%）となっており、女性が男性の3倍弱である。

また50代・60代の女性の割合が多く、全体の67%を占めている。相談内容別では、「人生」、「家族」の順になっている。「家族」の相談内容は、親子関係や兄弟関係、または自分自身が家族との向き合い方に悩み、相談される方が増加している。昨今いわれている、近いからこそ難しい関係性の希薄を表しているともいえる。

今年度は、対面相談予約受付時に電話相談・インターネット相談・自死遺族支援の内容もお伝えし、対面相談以外の方法でも相談が出来る旨を理解していただいた結果、対面相談で対応できない時間帯は電話相談に移行された方が何人かおられた。繋がりを求めてくる来談者に対して、その場で応えていくことが必要であると同時に、千葉のうちの電話の4つの事業活動の強みを感じる事が出来た一年であった。

#### ◆ 対面相談実施件数

年 度	実施件数
2009年～2018年	916
2019年	164
計	1,080

#### ◆ 対面相談実施件数 男女別

年 度	実施総数	男	女
2019年	164 (10)	45 (2)	119 (8)

( ) は当日受付での相談件数

#### ◆ 対面相談実施件数 年代別

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
男	0	2	1	8	25	9	0	0
女	0	3	5	19	44	32	16	0
計	0	5	6	27	69	41	16	0

#### ◆ 対面相談実施件数 相談回数別

1回： 22	2回： 8	3回： 134
--------	-------	---------

#### ◆ 対面相談実施件数 相談内容別

項目	人生	職業	経済	家族	夫婦	対人	身体	精神	自死遺族
人数	66	8	0	45	0	30	6	7	2

#### ◆ 対面相談実施件数 情報源別

情報源	地域新聞	HP	広報誌	3事業	公開講座	ポスター	その他
人数	72	44	2	44	0	0	2

#### ◆ 自殺傾向

傾向	なし	念慮	危険	予告	自傷等
人数	150	10	4	0	0

#### ◆ 自死遺族個別相談（於：印旛合同庁舎）

相談件数： 2件	来談者数： 2名
----------	----------

## (4) インターネット相談事業

相談事業は昨年度より月6回の返信活動を継続している。部員は新人研修を終了し認定を受けた1名を加えて14名となった。また、2名がネット相談研修ボランティアとして認定された。今年度は新機材のパソコンが3台寄贈されるなど一層の励みとなった。

受信総数は昨年とほぼ同数である。地域別は昨年と同様の傾向であるが、性別では昨年は女性の割合が男性の2倍であったが、今年度は3倍となっている。年代別については、20代から40代が多いのは同様であるが、今年度は50代が全体の1割以上となった。年代別の相談内容についても次年度から把握したいと思っている。また、相談内容別では、特に精神が昨年度の倍以上になっている。相談回数については2回、3回の往復は50%で昨年度との変化はない。自殺傾向については、念慮は昨年と同率だが、危険と予告については昨年比1%増だった。

継続研修については、講師による研修が台風などのため実施できないこともあったが、先生方の協力によりLGBTや精神疾患の方の理解等を深めることができた。また自主研修を3回実施し、返信文の記述に関連した具体的な学びの機会が得られた。新年度の研修については、講義及びグループSVを企画、またできる範囲で講義は他事業部会への公開も予定されている。

### 〈インターネット相談統計（2019年4月～2020年3月）〉

地域別		性別		相談回数	
千葉県	272	男	75	1回	173
その他	24	女	233	2回	97
不明	32	不明	20	3回	58
計	328	計	328	計	328

#### ■ 年代別相談件数

年代	9才以下	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	不明	計
人数	0	25	87	85	55	41	0	0	35	328

#### ■ 相談内容別

内容分野	人生	人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	計
相談数	50	3	23	18	38	24	8	41	23	8	88	4	0	328

#### ■ 自殺傾向

なし	念慮	危険	予告	実行中	不明	計
168	112	8	2	0	38	328

## II 養成と研修

### (1) ボランティア相談員の養成

#### ①第32期 ボランティア相談員養成基礎研修講座

□第Ⅰ課程 いのちを育む対人援助の視点

9/1 開講式・オリエンテーション

(友田直人氏他)

9/7 ボランティアマインド

(永原伸彦氏)

9/21 社会学の視点から見た自殺の問題

(清水新二氏)

9/28 自殺の予防・精神科医の視点から 人間関係の理解

(亀井雄一氏・米村美奈氏)

10/5 人間関係の理解 自殺の予防・生きる意味

(佐藤俊一氏)

10/19～20 宿泊研修「対人援助を学ぶ」

(佐藤俊一氏)

□第Ⅱ課程 心の通い合う対人的かかわりの基本

11/2 講義

(勝山修一郎)

11/9～12/21 グループ実習

(木村登紀子氏・米村美奈氏・  
西浦加代子氏)

□第Ⅲ課程 自殺という危機への介入

1/11 精神障がいと自殺念慮について

(亀井雄一氏)

2/1 心の相談の実践

(末松渉氏)

#### ②第31期ボランティア相談員養成基礎研修講座 15名

□第Ⅲ課程 1月～4月 講義

□第Ⅳ課程 5月～2月 電話相談実習・グループワーク

認定面接：上田将史氏・勝山修一郎氏・木村登紀子氏・佐藤俊一氏・西浦加代子氏・  
藤井忠幸氏

#### ③インターネット相談事業 8期養成研修 1名

5月～1月 講義

講師：上田将史氏・日下忠文氏

面接：勝山修一郎氏・上田将史氏

#### ④自死遺族支援事業 7期養成研修 5名

5月～10月 講義

講師：藤井忠幸氏・清水新二氏・福山清蔵氏・吉久小夜子氏

面接：藤井忠幸氏

#### ⑤7期電話相談研修ボランティア養成研修 3年目 5名

4月～2月 実習・グループワーク

3月 面接：木村登紀子氏・西浦加代子氏

#### ⑥3事業研修ボランティア養成講座 2年目

4月～2月 各相談事業にて、それぞれの講師により2年目の研修を行う

3月 認定面接

自死遺族支援 1名：藤井忠幸氏

インターネット相談 2名：5月～1月 講師：上田将史氏

対面相談 2名：6月～2月 講師：勝山修一郎氏

### (2) 相談員の研修

#### ①電話相談員研修（1期生～30期生）

毎月1回（4月～2月）16グループ（2回専門家による研修）

講師：勝山修一郎氏・木村登紀子氏・末松渉氏・西浦加代子氏・米村美奈氏・田辺昭雄氏・山本多賀子氏

#### ②電話相談研修ボランティア

フォローアップ研修：7月～2月（7回）講師：末松渉氏

個人スーパービジョン：電話相談研修ボランティア14名 講師：西浦加代子氏

### ③自死遺族支援員研修

継続研修 年6回 (5/20・5/27・6/17・6/24・7/1・7/21・8/5・9/2・9/30・10/7)

講師：藤井忠幸氏

### ④対面相談員研修

継続研修 年10回 (5/12・6/9・9/9・11/10・12/8・2/9)

講師：勝山修一郎氏・佐藤俊一氏 個人スーパービジョン 10名

### ⑤インターネット相談員研修

継続研修 (自主研修を含む) 年8回

(4/7・5/12・7/25・8/18・10/27・11/24・12/18・1/26)

講師：日下忠文氏・上田将史氏

### ⑥事例検討研究会 (講師：西浦 加代子氏)

第1回 11/29 「自殺を繰り返す かけ手」についての相談事例 参加：13名

第2回 2/17 「不当解雇 裁判を終えた今」についての相談事例 参加：14名

### ⑦相談員ブラッシュアップ研修 (日本郵便年賀寄付金助成事業)

基礎力開発研修 前期：4/24～9/21 (6回) 講師：佐藤俊一氏 参加：9名

後期：10/15～3/7 (6回) 講師：佐藤俊一氏 参加：7名

### ⑧全体研修「アートセラピー・コラージュ」

11/27 2回 12/7 2回 参加合計：26名

### ⑨外部研修

・相談員全国研修大会 (岡山) 10/24 (木)～26 (土) 3日間 参加：15名

・自死遺族支援事業実施センター合同研修会 (東京) 2/15 参加：5名

## Ⅲ 公開講演会・公開講座

### (1) 「統合失調症がやってきた」

フリーダイヤル公開講演会 (厚生労働省補助事業)

八千代市共催

講師：松本ハウス氏

実施日：令和元年11月16日 (土)

会場：八千代市総合生涯学習プラザ多目的ホール

参加者：105名



松本ハウス氏

### (2) 「いそがず、ゆっくりと、生きていきませんか」

横芝光町共催

講師：篠原鋭一氏

実施日：令和元年12月8日 (日)

会場：横芝光町健康づくりセンター

参加者：87名



篠原鋭一氏

### (3) 「ひとはいつだって変わる！」

柏市共催

講師：夏苺郁子氏

実施日：令和元年12月15日

会場：アミュゼ柏

参加者：85名



夏苺郁子氏

## IV 活動報告

### 1. 理事会・評議員会の開催

理事会 5月15日・7月1日(臨時)・11月6日・3月13日(書面)  
評議員会 6月12日・11月13日・3月27日(書面)  
主な議案 平成30年度事業報告・決算報告・役員選任・評議員の選任・平成31年度事業計画・予算

### 2. 千葉いのちの電話開局30周年記念事業開催

- 式典：祝賀会 日時：10月1日(月)13:30～  
場所：オークラ千葉ホテル エリーゼの間
- 記念誌発行：本文92ページ全カラー・7000部
- 記念講演会「私たちはどう生きるか」講師 姜尚中氏・シンポジウム「若者たちは何を考え何を求めているのか」日時12月1日(日)14:00～  
場所：千葉市生涯学習センター  
記念誌・講演会：共同募金会助成事業  
シンポジウム：日本郵便年賀寄付金助成事業

### 3. 認定証交付

日時：3月21日(土)13:00～14:00  
31期電話相談ボランティア認定 15名  
自死遺族支援員 5名  
ネット相談員 1名  
研修ボランティア 電話 5名・自死 1名・ネット 2名・対面 2名  
新型コロナウイルス感染予防のため式典は行わず、理事長より認定証を手渡しました。

### 4. 部会・委員会活動

#### (1) 研修委員会

- (5/13・10/21・3/10)
- ・31期養成講座について(第Ⅲ課程判定、第Ⅳ課程、認定)
  - ・第7期電話相談研修ボランティア養成について
  - ・32期ボランティア養成について(第Ⅰ・第Ⅱ・第Ⅲ課程)
  - ・3事業研修ボランティア養成について
  - ・基礎力開発研修について
  - ・33期養成講座募集要項について

#### (2) 研修専門家部会

- (4/18・8/13・10/22・11/26・12/22・1/28・3/9)
- ・電話相談員7期電話研修担当の認定について
  - ・3事業研修担当ボランティア養成の判定について
  - ・3事業研修担当者のフローアップ研修のカリキュラム検討
  - ・32期応募者面接について
  - ・32期基礎研修講座Ⅰ・Ⅱ課程判定について
  - ・33期募集案内について
  - ・3事業相談員の認定について…他

#### (3) 研修ボランティア部会

- (4/19・5/24・6/21・7/19・9/20・10/18・12/20・2/21)
- ・電話研修担当者7期養成3年目の実施(3年計画)
  - ・3事業合同研修ボランティア養成2年目の実施(2年計画)
  - ・リフレッシュ宿泊研修の実施 6/22(土)～6/23(日)  
講師：上田将史氏 白岩紘子氏 竹内敦子氏 石川真紀氏
  - ・全体研修の実施 竹内敦子氏「コラージュ」  
11/27(水)午後・夜 12/7(土)午前・午後



## 2) 定例会議開催

構成：部会役員（3名）と各継続研修グループからの代表（17名）

日時：原則毎月第3土曜日（8、3月除く）10時～12時（10回開催）

主なテーマ：一人対応への対応方針検討（アンケート実施に基づく）、管内防災機器の全員での確認、ガイドブックの作成、等。

## 3) 電話相談事業検討グループ会議の開催

構成：担当理事、研修担当、部会役員、事務局 計6名

日時：適宜（3回開催）

主なテーマ：一人対応のサポート要員の確保と研修について

## 4) 電話相談ボランティアへの慰労

①永年表彰（30年、20年、10年の活動者に対して）

10月1日の30周年記念懇親会にて表彰するための感謝状、記念品を用意した。

②年末年始担当者への茶菓

12月29日～翌年1月3日迄の電話担当者に茶菓を用意した。

## 5) 局外活動（他団体との交流）

①千葉市ボランティアセンター連絡協議会の活動に参加

役員会出席……5/30、7/4、9/5、11/7、1/16

グループリーダー研修会出席……9/21

ボランティア研修会出席……9/26

グループ交流会出席……12/4

②上記より助成金2万円にて廃棄作業促進のため「置くだけ自動シュレッダー」を購入。

## 6) 特記事項

①研修ボランティア部会から事業部会への業務移行

2年目の移行計画を実施。統計打ち込み及び受信カード等印刷を行っている。

録音業務については、主たる業務が研修のためのCD作成のため、研修ボランティア部会の業務とした。

②ガイドブック

・ガイドブックの一部改訂で差し替え分作成、配布（4月継続研修時）、管理

・ガイドブックの全員貸し出しは、辞退時の返却管理が大変なため、電話定例会議や4事業で話し合い、全員貸し出し配布は次年度から止めることとした。

センター内配置とし、新規相談員や希望者に貸し出し管理する。個人配布しないため、継続研修時に内容を確認することで周知を行うこととする。

・ガイドブックは、4事業はじめ事務局等センター全体の内容のため、電話相談事業部会の作成、管理から事務局に次年度から移行する。

③防災訓練の第一歩として防災機器・セキュリティ機器館内ツアーを実施

④災害時の備蓄品等の管理は、4事業相談員全員やセンター全体のこのため、事務局に移行する。

⑤10月31日～新電話機設置に伴い、使い方（特に保留）の周知

⑥年末年始休み（12/28～1/5）のセンター駐車場利用トライアル

⑦2020年1月～ナビダイヤル統計に伴う受信カード記入欄の追加及び説明

## (11) 自死遺族支援事業部会

わかちあいの会・茶話会の開催

フォローアップ研修

公開講演会の開催

連盟 合同研修会 担当

三つ折りリーフレットの作成

地域新聞告知掲載

## (12) 対面相談事業部会

対面相談実施（印旛合同庁舎・自死遺族個人対面相談）  
養成研修・フォローアップ研修・健康づくり大会参加  
地域新聞告知掲載 三つ折りリーフレットの作成

## (13) インターネット相談事業部会

インターネット相談実施  
養成研修・フォローアップ研修  
三つ折りリーフレットの作成

## (14) OB会

毎月1回定例会  
（6月全体会・12月クリスマス会の開催 その他）

## (15) 事務局

事業計画の円滑な推進に協力・千葉市・関係機関との連携・諸会議出席  
連盟会議出席  
相談員向広報「ホウレンソウ」編集・作成

# V 他機関との連携

## 1. 千葉県いのちの電話協会後援事業

### (1) チャリティーコンサート 6/28（金）

会 場：千葉市文化センター・アートホール 参加：488名  
出演者：りゅうよしこ 愛を歌う～人生賛歌～

### (2) 千葉いのちの電話30周年記念チャリティーコンサート 11/19（火）

会 場：習志野文化ホール  
出演者：加藤登紀子 ～愛をあなたに～ 参加：1,054名

### (3) バザー参加

・2019年4月7日 千葉福祉園お花見会 袖ヶ浦市  
・2019年5月12日 母の日コンサート 千葉市民会館  
・2019年5月26日 吉成庸子声の花束 千葉市文化センター  
・2019年11月10日 千葉刑務所矯正展 千葉刑務所

## 2. 一般社団法人日本いのちの電話連盟

### (1) 第47回定期総会に出席（5/23）

### (2) 事務局長会議に出席（5/25）

### (3) 関東甲信越ブロック会議に参加（7/14）於東京多摩センター

### (4) インターネット相談運営委員会に参加（9/15・12/8）

### (5) フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加 毎月10日 0120-783-556（後援・厚生労働省）

### (6) いのちの電話ナビダイヤルに参加 0570-783-556

### (7) 自死遺族支援合同連絡会議に参加（2/15）5名参加

## 3. 千葉県諸機関との連携

### (1) 自殺対策支援連絡協議会のメンバーとして会議に出席

（千葉県・千葉市・浦安市・柏市・市川市・船橋市・松戸市・八千代市・白井市・横芝光町）

### (2) 千葉県精神保健福祉協議会にメンバーとして参加

（心のふれあいフェスティバル・心の健康フェア・地域移行支援（退院促進）セミナー）

### (3) 千葉県精神保健福祉センター（電話相談に関する情報交換会）参加

### (4) 千葉県安全安心まちづくり推進協議会に出席

### (5) 千葉市ボランティア連絡協議会の関連行事に参加

### (6) 千葉市社会福祉協議会の関連行事に参加

### (7) 千葉市保健医療事業団の健康づくりフェスティバルに参加

# 2019（平成31）年度 決算報告

## ■ 貸借対照表（2020年3月31日現在）

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	26,275,601	流動負債	29,754
現金	35,248	預り金	24,504
普通預金	22,231,397	職員預り金	5,250
事業未収金	3,776,800	負債の部合計	29,754
立替金	232,156	純 資 産 の 部	
固定資産	152,665,347	基本金	145,812,651
基本財産	115,968,747	その他の積立金	35,717,501
土地	59,500,000	修繕積立金	26,000,000
建物	56,468,747	備品等購入積立金	2,000,000
その他の固定資産	36,696,600	ボランティア養成積立預金	7,717,501
構築物	1	次期繰越活動増減差額	△ 2,618,958
器具及び備品	24	（うち当期活動収支差額）	△ 3,102,271
電話加入権	536,372		
ソフトウェア	442,702		
修繕積立金	26,000,000		
備品等購入積立預金	2,000,000		
ボランティア養成積立預金	7,717,501		
資産の部合計	178,940,948	純資産の部合計	178,911,194
		負債及び純資産の部合計	178,940,948

## ■ 資金収支決算書（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：円）

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	相談事業収入	11,795,000	11,624,229	170,771
	経常経費寄附金収入	5,855,000	6,042,589	△ 187,589
	受取利息配当金収入	3,000	2,698	302
	その他の収入	1,376,000	1,190,000	186,000
	収 入 計	19,029,000	18,859,516	169,484
	人件費支出	7,468,500	6,099,824	1,368,676
	事務費支出	11,520,293	10,323,552	1,196,741
	支 出 計	18,988,793	16,423,376	2,565,417
	事業活動資金収支差額	40,207	2,436,140	△ 2,395,933
施設整備等による収支	施設整備等収入	0	0	0
	施設整備等支出	0	0	0
	施設整備等資金収支差額	0	0	0
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	600,000	434,000	166,000
	修繕積立預金支出	0	1,000,000	△ 1,000,000
	30周年記念行事支出	970,131	1,558,072	△ 587,941
	その他の活動資金収支差額	△ 370,131	△ 2,124,072	1,753,941
	予 備 費	3,207	-	3,207
	当期資金収支差額合計	△ 333,131	312,068	△ 645,199
	前期末支払資金残高	25,933,779	25,933,779	0
	当期末支払資金残高	25,600,648	26,245,847	△ 645,199

# 監査報告書

社会福祉法人千葉いのちの電話  
理事長 友田 直人 様

令和2年4月20日

監事.....大森 薫 (印)

監事.....杉本 守次 (印)

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度（2019年度）の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

## ■2019年度補助金等内訳

(単位：円)

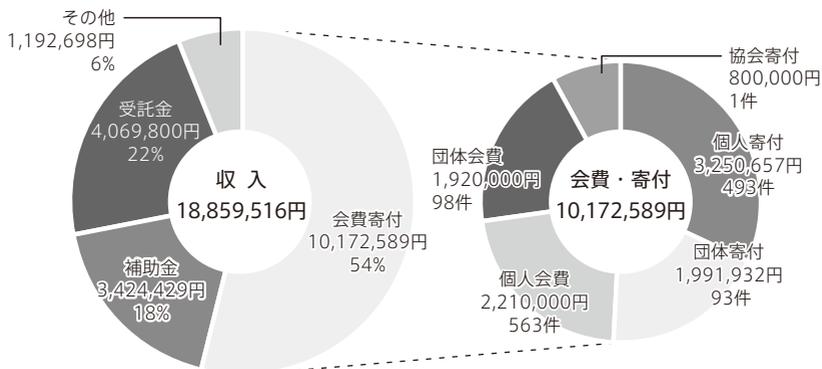
千葉県（電話相談員研修費）	1,300,000	自死遺族支援事業	
千葉県（地域自殺対策強化事業費）	447,000	千葉県受託事業	1,744,800
千葉市（電話相談員研修費）	500,000	柏市	285,000
千葉県共同募金会	500,000	千葉市	109,315
千葉県社会福祉協議会	68,114		
千葉市社会福祉協議会	20,000		
郵政年賀寄付	500,000		

## ■後援団体寄付金

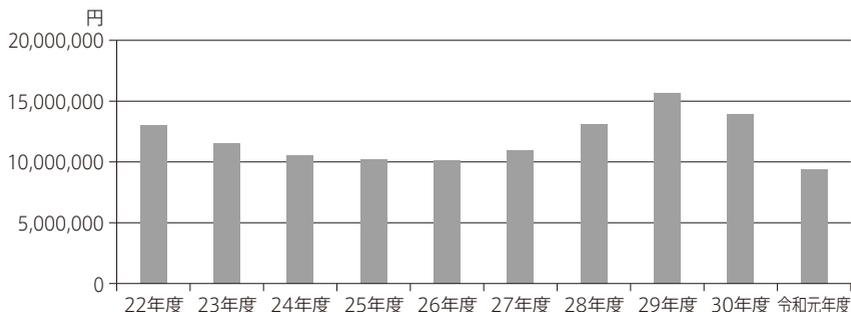
(単位：円)

千葉いのちの電話協会	800,000
------------	---------

2019年度収入の内訳



会費寄付合計金額 (個人と団体)



2019 (平成31) 年度の収入は18,859,516円。このうち、会費寄付が54%で昨年より約456万円減っている。補助金収入が18%、受託金収が22%。その他の収入は受講料や施設使用料などである。会費寄付収入は、2015 (平成27) 年度以降は、遺産寄付や個人の篤志家による大口寄付によって少しずつ増加に転じていたが、今年はコロナ渦もあり、大幅に減少した。

■大口団体寄付 (5万円以上) ありがとうございました。 敬称略 (アイウエオ順)

上野社会保険労務士事務所、カトリック市川教会、カトリック西千葉教会、金坂医院、医療法人社団望葉会日下医院職員一同、京葉銀行社会活動推進室、(一社)生命保険協会千葉県協会、千葉県税理士会愛のボランティア会、千葉県流通商防犯協力会、千葉興業銀行ともしびの会、千葉大学医学部付属病院看護部、千葉中央ライオンズクラブ、千葉西ロータリークラブ、千葉ロータリークラブ、東邦大佐倉病院看護部、中村古峽記念病院、長谷川化学工業、(有)やまわき、連合千葉

# 2020（令和2）年度 事業計画基本方針

## 1. 基本理念の浸透

精神的危機に直面し苦悩している人に傾聴を基本姿勢として寄り添う相談活動を通して、裾野の広い自殺予防活動を行う。これらは、善良な市民の自らの意思による無償の行為である。

いのちの電話関係者はこの基本理念を共有し、浸透させること。

## 2. 千葉いのちの電話の一般県民への広い周知

自殺予防活動を目的とし活動するこの働きを、広く県民の一人一人に広報すると共にボランティアへの参加促進につなげる。

## 3. 新組織の理解促進と定着

法・社会・利用者・相談員等の要請にこたえるため組織・各内規等の整備を進める。  
内部での理解・改善・見直しを、対話を基に進める。

## 4. 施設整備の実施

建物・設備の点検と整備の計画化。  
整備資金積立の実行。

## 5. 財政基盤の健全な強化

安定的な寄附金収入の確保と拡大のため、維持会員を更に獲得する方法の検討と実施。

## 6. 将来像の検討

基本理念に基づき、社会の変化に対応した、将来の千葉いのちの電話のあり方を検討する。

# 2020（令和2）年度 事業目標

## I 研修委員会

研修全般に関する方針策定、研修計画・予算案の承認  
研修の課題への対応及び決定

- (1) 研修専門家部会 研修に関する事項や課題について専門家の立場から協議・提言・提案を行う。相談員の判定・認定を行う。
- (2) 研修ボランティア部会 研修の計画、予算の作成、決定された研修の実施。基礎研修養成講座計画・実施  
4事業研修ボランティアに関するマネジメント

## II 事業委員会

4事業に関わる適切な相談支援活動の維持・継続を図る。  
すなわち円滑な相談支援の実施、記録の整理と保存、福利厚生、環境整備

- ・電話相談事業部会 電話相談の調整、相談環境の改善
- ・インターネット相談事業部会 日会話の特性を生かした相談需要への対応
- ・対面相談事業部会 地域への開かれた相談として周知を図る
- ・自死遺族支援事業部会 わかちあいの会ひだまりの周知・維持・充実

## III 総務財務委員会

相談支援活動の維持・継続を支える活動  
自殺予防の啓発、相談員希望者の拡大、財務支援の増強等のため広く県民に千葉いのちの電話の存在を周知し理解と協力を仰ぐ。

- ・ボランティア増強部会 ボランティア希望者の拡大
- ・広報啓発イベント部会 講演会の開催、協会のイベント支援

## 2020（令和2）年度 一般会計予算

2020年4月1日～2021年3月31日

科目	予算額
<b>【収入の部】</b>	(単位：円)
会費収入	4,280,000
補助金事業収入	3,408,000
受託金収入	4,065,000
寄付金収入	6,400,000
雑収入	1,143,000
ボランティア養成 積立金繰入収入	600,000
当期収入合計	19,896,000
収入合計	19,896,000
<b>【支出の部】</b>	(単位：円)
人件費支出	7,552,000
事務費支出	12,257,993
修繕積立金	
予備費	86,007
当期支出合計	19,896,000
当期収支差額	0
支出合計	19,896,000

・財務総務部会 事業計画・予算案作成を中心に、円滑な事業の遂行を図る。財務基盤の拡張を担う。

#### IV 事務局

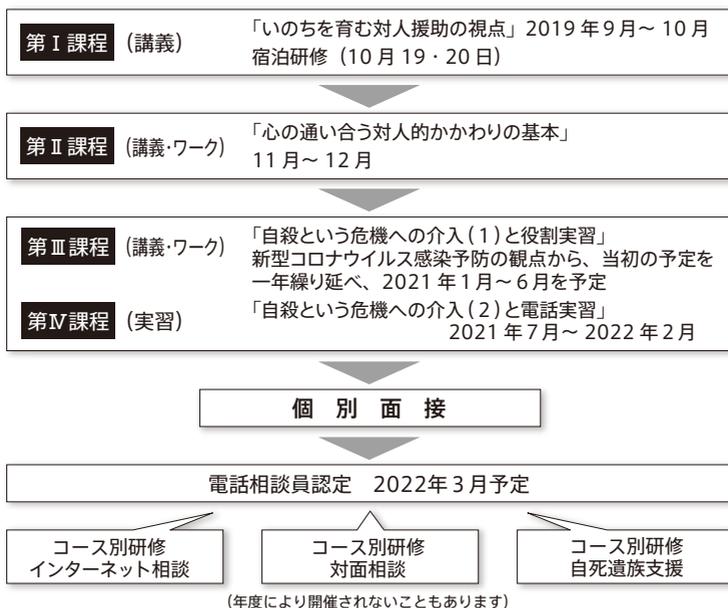
事業計画・予算に則し各事業の円滑な推進を図る。

## 2019年度 第32期ボランティア相談員基礎研修講座の概要

### 相談ボランティアになるには

- 年齢20歳以上（2019年4月1日現在）
- 資格・経験は不問（電話相談及び各種研修に参加できる心身ともに健康な方）
- 基礎研修講座第Ⅰ～第Ⅳの各課程を原則全出席と宿泊研修に出席できること

### 第32期ボランティア相談員養成講座の流れ



(年度により開催されないこともあります)

養成講座講師予定：上田将史氏、勝山修一郎氏、亀井雄一氏、木村登紀子氏、佐藤俊一氏、清水新二氏、末松 渉氏、永原伸彦氏、西浦加代子氏、藤井忠幸氏、米村美奈氏 他

千葉いのちの電話の相談員としての適性を考慮し、各課程ごとに判定を行います。

※ 詳しくは、事務局へお問い合わせください。

### 参考 新規ボランティア相談員養成講座申込者動向

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	計
	26期	27期	28期	29期	30期	31期	
応募者数	39	27	43	24	25	36	194
受講者数	31	22	30	21	16	23	143
終了者数	23	16	19	11	8	15	92
辞退者数	10	4	6	1	0	0	21
現相談員数	13	12	13	10	8	15	71

## 千葉県いのちの電話協会

「千葉県いのちの電話協会」は社会福祉法人千葉いのちの電話の後援会です。

千葉いのちの電話の財政的支援を主として各種支援事業（活動ボランティアによる手づくり作品の販売・チャリティバザーなど）を行っており、年2回開催するコンサートは収益事業であると共に、幅広く地域の皆様に千葉いのちの電話の活動にご理解とご支援をお願いする広報活動でもあります。1990年10月の結成から29年目を迎えることができ、これまでご支援を頂いた皆様には深く感謝申し上げます。

### ★第17回千葉いのちの電話開局30周年記念ふれあいチャリティーコンサート

2019年6月28日（金）千葉市文化センターアートホール  
りゅう よしこ 愛を歌う ～人生讃歌～



ふれあいチャリティーコンサート

### ★第28回千葉いのちの電話開局30周年記念チャリティーコンサート

2019年11月19日（火）習志野文化ホール  
加藤登紀子 ～愛をあなたに～



30周年記念チャリティーコンサート

### ★手づくり会・バザー一部

手芸の好きな仲間が月に数回集まり、作品を作り、コンサート会場やバザー等で販売し、千葉いのちの電話を側面から支援しています。



バザー

### ★イオン社会貢献事業

幸せの黄色いレシートキャンペーン  
参加

## 2020年度コンサートのご案内

- ◆ 千葉県いのちの電話協会30周年記念ふれあいチャリティーコンサート  
澤村祐司&永井由里ジョイントコンサート ～情熱と愛によせて 和と洋の調べ～  
コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止といたしました。
- ◆ 千葉県いのちの電話協会30周年記念チャリティーコンサート  
山田大智 LAVOCE ～歌とピアノで巡る世界の旅～  
2020年11月7日（土）千葉市民会館

■大口団体寄付（3万円以上）をありがとうございました。 敬称略

千葉おかみさん会 株式会社ナリコー 株式会社成田空港美整社 千葉銀行  
千葉興業銀行 千葉信用金庫 小さな親切運動ちばぎん支部

# 社会福祉法人千葉いのちの電話 役員名簿 (敬称略) 2020 (令和2) 年7月1日

## 顧問

佐藤 甫 夫	元千葉大学医学部 教授	磯岡 哲也	淑徳大学 学長
長谷川 匡 俊	学校法人大乘淑徳学園 理事長		

## 理事長

友田 直人	社会福祉法人千葉ベタニヤ ホーム 理事長
-------	-------------------------

## 理事

北原 悦子	千葉いのちの電話ボランティア	松崎 泰子	日本社会事業大学 理事
藤 浩一	千葉いのちの電話 事務局長	三橋 和弘	社会福祉法人 一粒会 監事
佐藤 俊一	淑徳大学 教授		一般社団法人 日本いのち
清水 新二	放送大学客員教授		の電話連盟 監事
清林 新偉	千葉県精神保健福祉センター センター長	水鳥川 洋子	千葉県若人自立支援機構 専務理事

## 監事

大森 薫	大森税理士事務所 所長	裕本 守次	元千葉県民生委員児童委員 協議会 事務局長
------	-------------	-------	--------------------------

## 評議員

青木 一芳	千葉YMCA 理事	長谷川 昌江	元千葉いのちの電話ボランティア
因幡 和久	医療法人グリーンエミネンス 中村古峽記念病院 看護師長	長谷川 正克	社会福祉法人 千葉県共同募金会 事務局長
今井 一雄	今井法律事務所 弁護士	花崎 みさを	養護施設 野の花の家 理事長・統括施設長
内山 弘子	公益社団法人 千葉県看護協会 常任理事	藤本 正弥	一般社団法人 生命保険協会 千葉県協会 事務局長
小谷 裕	日本労働組合総連合会 千葉県連合会 会長	深山 博司	千葉市社会福祉協議会 常務理事
加藤 福子	元千葉いのちの電話ボランティア	吉松 靖子	元千葉いのちの電話ボランティア
川上 浩嗣	社会福祉法人千葉県社会 福祉協議会 事務局長	渡邊 茂	公益財団法人千葉市保健医療 事業団 専務理事兼事務局長
岸 憲秀	千葉YMCA 理事長		
近藤 龍雄	NPO法人千葉県精神障害者・ 家族会連合会 副理事長		
鈴木 和成	鈴木測量株式会社 取締役社長		
鈴木 國雄	千葉県年金受給者協会 会長		
鈴木 光	一般社団法人千葉県労働 者福祉協議会 会長		
高長谷 トミ子	株式会社高長谷商店 取締役		
津田 祐子	NPO法人コミュニティ ケア街ネット 副理事長		

# 千葉県いのちの電話協会(後援会) 役員名簿(敬称略) 2020(令和2)年7月1日

## 顧問

白井日出男	元衆議院議員	青柳俊一	千葉興業銀行 取締役会長
本本努	千葉銀行 取締役常務執行役員	宮澤英男	千葉信用金庫 理事長
綿貫弘一	京葉銀行 相談役	大澤克之助	千葉日报社 代表取締役社長

## 相談役

阿部紘一	千葉県議会議員	佐久間隆義	元市原市 市長
潤間丈助	ウルマビル株式会社代表取締役	堀江はつ	元千葉県議会議員
小川善之	元千葉市議会議員	米持克彦	千葉市議会議員

## 名誉会長

安田敬一	公益財団法人安田教育振興会 理事長
------	----------------------

## 歴代会長

川島教昭	株式会社稲毛自動車教習所 代表取締役会長
------	-------------------------

## 会長

橋本妊壽奈	成田ユネスコ協会婦人部長
-------	--------------

## 副会長

鈴木和成	鈴木測量株式会社 取締役社長	吉成庸子	作家・エッセイスト
島田行信	学校法人市川学園 理事		

## 理事

天野和子	千葉いのちの電話活動ボランティア 株式会社シティハウス 代表取締役	友田直人	社会福祉法人千葉いのちの電話 理事長
藤部文彦	新千葉法律事務所 所長	徳丸伸弥	千葉ベタニヤホーム 理事長
小野成子	株式会社プラント東葉 代表取締役		東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社総務部 サービス 品質改革室長
影山成己	税理士法人影山会計事務所 所長	豊田重俊	有限会社豊工業 取締役
日下忠文	日下医院 院長	松原淑子	千葉いのちの電話活動ボランティア
齊藤朝江	有限会社エダブン 代表取締役	三浦文江	千葉いのちの電話活動ボランティア
重宗光子	千葉いのちの電話相談ボランティア	山口悦子	千葉いのちの電話活動ボランティア

## 監事

大森薫	大森税理士事務所 所長
-----	-------------

## 研修専門家部会

上田将史	NPO法人 志木市精神保健 福祉をすすめる会 理事長	西浦加代子	元ルーテル学院大学付属 PCGカウンセラー
勝山修一郎	千葉カウンセリングセンター センター長	藤井忠幸	自死遺族ケア団体全国ネット代表
木村登紀子	聖路加国際大学 名誉教授		
佐藤俊一	桜クリニック 臨床心理士 淑徳大学 教授		

## ご支援のお願い

### ●あなたのご支援を必要としています

千葉のちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。24時間365日眠らぬダイヤルの維持や建物管理、研修生の訓練や相談員の継続研修、広報活動などのために、年間約1,900万円の経費が必要となっております。

現在、全国の自殺者は警察庁の発表によると2019年は20,169人、千葉県内では977人になっています。「死にたい!」と訴える相談者のところは、「生きたい! 助けて!」です。その声に寄り添うために、一人でも多くの方に資金ボランティアとして千葉のちの電話を支えてくださいますようお願い申し上げます。

### ●ご寄付の税額控除について

千葉のちの電話への寄付金については税額控除が受けられます。税額控除証明書を領収書と一緒に印刷しておりますので、確定申告の際にはどうぞご活用下さい。詳細は事務局までおたずねください。

### ●維持会員・寄付のお願い

- ◆個人会員 年額1口 2千円 (何口でも)
- ◆団体会員 年額1口 1万円 (何口でも)  
上記の額を毎年継続して納入して頂ける個人や団体
- ◆寄付者会員 この社会福祉法人の主旨に賛同して頂き、寄付金を納入していただける方、金額は問いません。

### 《お振込は下記のいずれかをご利用ください》

- ・郵便振替 / 00110-0-366563  
「社会福祉法人 千葉のちの電話」
- ・銀行振込 / 千葉銀行県庁支店 004 (普) 2115973  
京葉銀行本店 080 (普) 8897411  
千葉興業銀行千葉支店 111 (普) 6182171  
千葉信用金庫本店 001 (普) 0580786  
口座名は「社会福祉法人 千葉のちの電話 理事長 友田直人」

### 社会福祉法人 千葉のちの電話 事業案内

発行日 2020年7月1日  
発行者 理事長 友田直人  
事務局 〒260-0012  
千葉市中央区本町3-1-16 CIDビル  
TEL 043-222-4416・4322  
FAX 043-227-6911  
<http://www.chiba-inochi.jp>  
E-mail [ll-chiba@chiba-inochi.jp](mailto:ll-chiba@chiba-inochi.jp)  
エルエル



